TOSHIBA

5T00XE0315-6

東芝換気扇取付説明書（ダクト用）

販売店・工事店さま用

日本国内専用品
Use only in Japan

形名

DVF-10JX2, 10JXA2, 10J2, 10JA2, 10JS
DVF-14JX2, 14JXA2, 14J2, 14JA2, 14JS, 14JQ2, 14JQA2
DVF-14EX2, 14EXC2, 14WX2, 14WXC2, 14P2, 14PC2
DVF-18JX2, 18JXA2, 18J2, 18JXY2, 18JXS
DVF-18EX2, 18EXC2, 18WX2, 18WXC2, 18P2, 18PC2

- この換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。（形名により図が一部異なります。）
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。
- 別売部品をご利用ください。（詳しくはカタログをご覧ください。）

安全上のご注意

●商品および取付説明書にはお使いになるかたやほかの人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

表　示	表示の意味
⚠警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定される内容”を示します。
⚠注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容”を示します。

表　示	図記号の意味
禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

＊1: 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2: 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

●取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
また、この取付説明書は取扱説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

⚠警告

改造禁止	**改造はしない** 火災・感電・けがの原因になります。
分解・修理禁止	**修理技術者以外の人は分解、修理（※）をしない** 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理はお買上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。
アースを接続する	**アースは確実に取り付ける** 故障や感電したとき、火災・感電の原因になります。 アースの取り付けは販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
接触禁止	**メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属性ダクトが貫通する場合、金属性ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付ける** 漏電した場合、火災の原因になります。
取付禁止	**内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない** 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
水かけ禁止	**水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしない** 漏電により、火災・感電の原因になります。
給気を確実に	**煙突排気の燃焼器具がある住宅に据え付けるときは、十分に大きな空気取入口を別に付ける** 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
交流100Vを使う	**電源は交流 100V を使う** 交流 100V 以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。

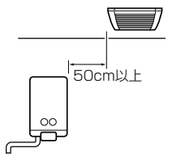
⚠注意

取付禁止	**浴室内には壁スイッチを取り付けない** 火災・感電の原因になります。
炎禁止	**炎が接近したり、あたるおそれのある場所には取り付けない** 火災の原因になります。
確実に取り付ける	**強度のある場所に確実に取り付ける** 落下による、けがの原因になります。
確実に取り付ける	**本体カバーや部品は確実に取り付ける** 落下による、けがの原因になります。
取付注意	**電気工事は必ず電気工事店に依頼する** **電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う** 火災の原因になります。
手袋着用	**取り付けのときは、手袋を着用する** 手袋を着用しないと、けがの原因になります。
使用禁止	**浴室など湿気の多いところや水のかかるところには取り付けない（浴室用機種を取り付けること）** 火災・感電・劣化の原因になります。

取付上のお願い

●次のような場所には取り付けないでください。

1. 高温（40℃以上）になる場所
   ①ガスレンジの真上
   ②ガス湯沸器の真上
   （横方向へ 50cm 以上離してください。）
   ③換気機能のない浴室乾燥機を使用する浴室
2. 台所など油煙の多い場所
3. 腐食性ガスの発生する場所



●点検口を必ず設けてください。

●次のようなダクト工事はしないでください。

（1）極端な曲げ　（2）多数回の曲げ　（3）接続ダクト径を極端に小さくする　（4）排気口のすぐ近くでの曲げ

●ダクトと排気口をテクスねじなどで止めないでください。
シャッターが開かなくなる原因になります。

●地域によっては樹脂製換気扇およびジャバラが使えないことがあります。
（詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。）

●共同ダクトへ排気するときには、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用することが義務づけられていますので、2mの鋼板立上がりダクトを取り付けるか、システム部材の防火ダンパーを取り付けてください。

●効率よく換気させるため排気ダクトと同じ大きさの空気の取入口を部屋の反対位置に設けてください。

●業務用24時間風呂のような常時湿気のある場所では寿命が短くなる場合があります。

●製品上部を断熱材などで覆わないでください。
モータの放熱が悪くなり、断熱材が溶けたり故障の原因になります。

●モータに電源ケーブルが接触しないようにしてください。
モータの熱により、電源ケーブルが劣化するおそれがあります。

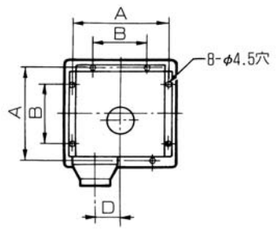
●傾斜のある天井面には取り付けないでください。
シャッター開閉不良、振動、異常音の原因になります。

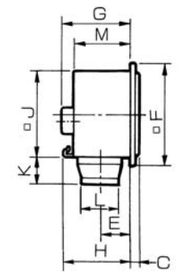
●浴室など湿気の多い場所では、本体カバーから水滴が落ちても不快にならない場所に取り付けてください。
（浴室用機種はルーバー別適応表をご確認ください。）

製品寸法

（単位：mm）

形　名	木枠内寸	ダクト呼び径
DVF-10 タイプ	□175	φ100
DVF-14 タイプ	□225	φ100
DVF-18 タイプ	□275	φ150





（単位：mm）

形　名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
DVF-10 タイプ	193	110	20	0	119	230	197	197	168	72	φ98	196
DVF-14 タイプ	243	140	20	0	108	280	200	197	217	72	φ98	196
DVF-18 タイプ	290	180	20	58	128.5	330	240	235	270	101	φ143	233

付属品の確認をしてください。

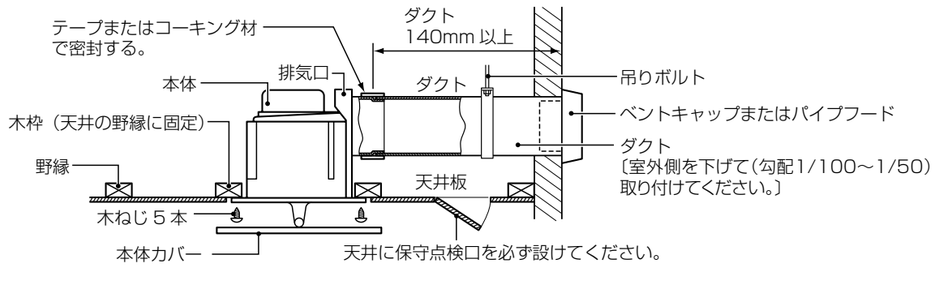
- 木ねじ 5 本
  （本体固定用・排気口固定用）
- 取付ボルト 1 本
  （本体仮固定用）

φ 4.1 × 25 ℓ

取付方法

●取付工事前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。
●取付時、板金部品の端面で手を滑らせると手が切れる場合がありますので手袋を着用してください。

取 付 図

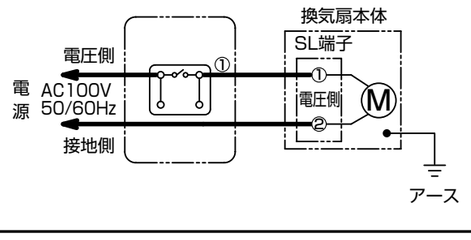


配線図　※太線部を結線する

◆ スイッチは SWF-52S（WW）をおすすめします。

結 線 図（太線部分を電気工事士にて結線してください）

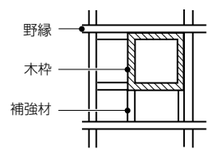
※施工時は「結線間違い」や「異電圧印加」等の誤結線がないことを十分確認してから運転してください。



A. 天井板を貼る前のとき

A-1 木枠内寸に合わせて木枠をつくり野縁に固定します。

木枠高さが 45mm 以下となるようにしてください。シャッター開閉不良、異常音の原因になります。

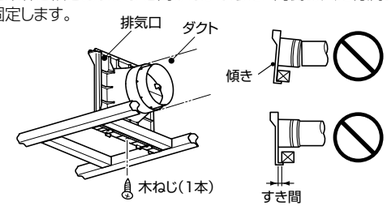


お願い
製品の質量に十分耐えるよう木枠を補強材などで野縁に固定します。

形　名	木枠内寸	製品質量
DVF-10 タイプ	□175	2.2kg
DVF-14 タイプ	□225	3kg
DVF-18 タイプ	□275	4.8kg

A-2 排気口を固定します。

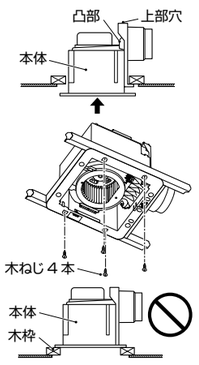
排気口を木枠と傾きおよびすき間がないように、内側の穴に付属の木ねじ 1 本で固定します。



A-3 本体を木枠に固定します。

①本体を挿入し、排気口の上部穴に本体の凸部をはめ込みます。

②木ねじ（4 本）で、本体を木枠に固定します。
本体の固定は木枠に密着させてください。風もれの原因となります。



お願い
本体を木枠の上に固定しないでください。

A-4 電源電線とアース線を接続します。

①本体上部のブッシングから電源電線（VVF φ 1.6、φ 2）、アース線を差し込みます。

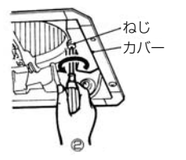
②カバーのねじをはすし、カバーをあけます。

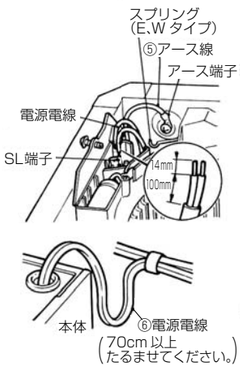
③SL 端子に電源電線の芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。（電源被ふくは 14mm むいてください。）

④カバーを閉じてねじを締め付けます。

⑤アース端子にアース線を取り付けます。(E､W タイプはスプリングに近接させないでください。)

⑥電源電線およびアース線は本体部付近で 70cm 以上たるませてください。

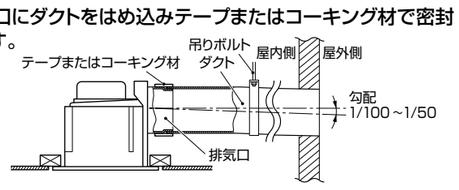




お願い
スイッチは必ず電圧側に取り付けてください。

お願い
電源電線は、点検が行えるように 70cm 以上余裕を持たせて配線し、SL 端子の接続部に張力が加わらないように固定してください。

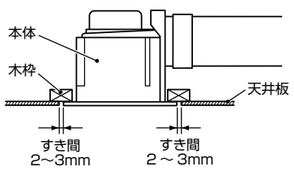
A-5 排気口にダクトをはめ込みテープまたはコーキング材で密封します。



お願い
ダクトは室外側を下げて吊りボルトなどで保持してください。

A-6 天井板を貼り付けます。

お願い
本製品は本体を天井よりはずせる構造としてありますので、天井板と本体のフランジとのすき間が 2 ～ 3mm になるようにしてください。



A-7 本体カバーを取り付けます。

ご注意
14E タイプ、14W タイプ、14P、18 タイプの本体カバー取り付け用スプリングは 2 本です。

①本体からスプリングを止まるまでゆっくりと真下へ引き出します。

②スプリングに引掛金具を引っ掛けます。

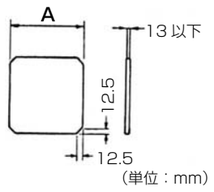
③本体カバーをそのままゆっくりとおし上げます。

（参考）
本体カバーの方向を 90 °かえてお使いになれます。(E タイプ、W タイプ）引掛金具の位置を 90 °かえて取り付けてください。

P タイプパネルを天井板に合わせる場合

①天井板をパネルと同じ寸法に切断します。
（取り付けられる天井板の厚みは13mm 以下です。）

形　名	□A
DVF-14 タイプ	264
DVF-18 タイプ	314



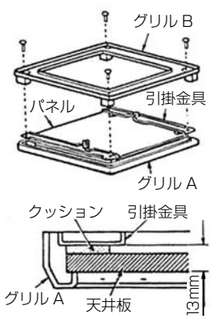
（単位：mm）

②グリル B の四すみの締付ねじを取りはずします。

③用意した天井板とパネルを入れ換えて取り外しと逆の順序で締付ねじ(4 本)にて取り付けてください。

※グリル A との間にすき間がないように、パネルに貼付けてあるクッションを切断して天井板とクッションの厚みが 13mm になるよう調整して取り付けてください。

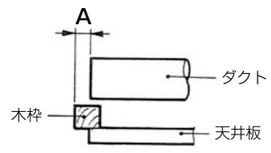
※締付ねじは、あまり強く締めつけないでください。



B. 天井板を貼った後のとき

B-1 排気口を固定します。

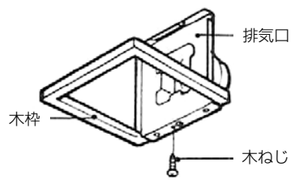
①ダクトの先端は下表の A 寸法に合わせてください。

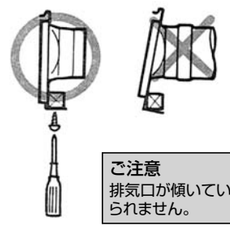


A寸法　（単位：mm）

形　名	ダクト（パイプ）			
	呼び径	UV	VP	スパイラル
DVF-10 タイプ	φ100	25	45	45
DVF-14 タイプ	φ100	25	45	45
DVF-18 タイプ	φ150	55	75	60

②排気口をタクトにはめ込み、木枠に付属の木ねじ（1 本）で固定します。





ご注意
排気口が傾いていますと本体が取付けられません。

B-2 排気口とダクトの接続部分にテープを巻き密封します。

詳しくは A-5 を参照してください。

B-3 電源電線とアース線を接続します。

詳しくは A-4 を参照してください。

B-4 本体を木枠に固定します

詳しくは A-3 を参照してください。

B-5 本体カバーを取り付けます。

詳しくは A-7 を参照してください。

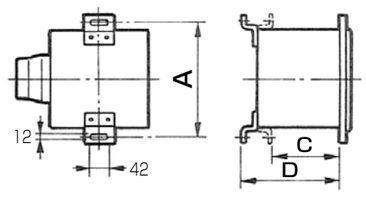
吊下金具を使用するとき

1 吊下金具は別売部品を使用します。

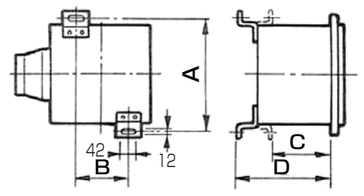
●DVF-10JS, 14JS, 18JXS には DV-ITS、その他の機種には DV-IT をご使用ください。
●吊下金具を使用して取り付けたとき、本体の取りはずしはできません。

2 次図を参照してアンカーボルトを埋込みます。

■ DVF-10、18 タイプ



■ DVF-14 タイプ



●吊下金具は破線のような取付けも可能です。

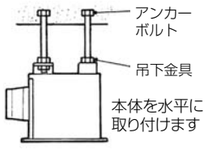
（単位：mm）

形　名	A	B	C	D
DVF-10 タイプ	212	–	168	226
DVF-14 タイプ	265	138	168	226
DVF-18 タイプ	314	–	205	263

3 排気口を本体に固定します。
排気口の切り起こしを本体の穴に通してペンチ等で曲げます。

4 本体をアンカーボルトに取り付けます。

ご注意
本体が水平になるように取り付けてください。



5 木枠を取り付けます。

6 以後の取り付けは A-4・5・6・7 を参照してください。

試運転

次の点検を行い異常がないか確認してください。

- 運転したとき異常音、異常振動がありませんか
- 製品の取付強度が十分ですか
- 本体カバーが確実に取り付いていますか

東芝キヤリア株式会社